

代用監獄はなくなるのか！

警察留置場

97年前に制定された監獄法は、ようやくこの5月に受刑者に関する部分がまず改正されましたが、捜査中及び裁判中の被疑者、被告人の取り扱いに関する部分は、いま、日弁連、法務省、警察庁間の協議が行なわれており、本年末にも正念場を迎えようとしています。

代用監獄—警察留置場は、これまで幾多の冤罪を生んできました。代用監獄をなくすことは、私たちの悲願です。しかし、警察側は、取調べのための警察勾留を手離そうとはしません。

このような重大かつ困難な時期を迎え、代用監獄を考える集会を企画しました。たくさんの市民の皆さんのご参加をお願いします

1部 ビデオ劇「模擬・取調室」
こうして自白を迫られる

2部 パネルディスカッション

パネリスト

冤罪事件元被告の立場から

山田悦子(甲山事件元被告)

刑事弁護の現場から

秋田真志(弁護士・刑事弁護委員会)

刑事法学者の立場から

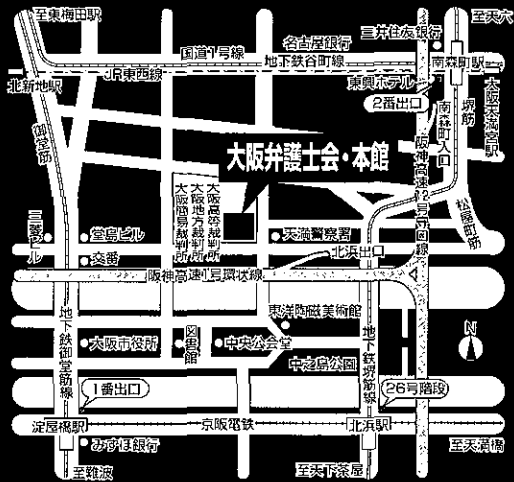
渡辺 修(甲南大学法科大学院教授)

コーディネーター

池上健治(弁護士・刑事法制委員会)

入場無料

10月28日(金) 午後6時30分～
大阪弁護士会館 本館6F中ホール



駐車場はございませんので電車等の交通機関をご利用下さい。

【交通手段】

- 地下鉄・京阪「淀屋橋駅」1番出口より徒歩10分
- 地下鉄・京阪「北浜駅」より徒歩10分
- 地下鉄「南森町駅」2番出口より徒歩10分

主催 大阪弁護士会

〒530-0047 大阪市北区西天満2-1-2

電話 06(6364)1227

URL: <http://www.osakaben.or.jp>

冤罪の温床



朝日新聞社提供

の廃止を求める市民集会